

事務事業名	永沢線改良工事			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業					
政策体系	政策名	01 潤いに満ちた快適な都市環境の創造			事業期間		予算科目			
	施策名	02 良好的な生活空間の創造			年度～	会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 生活道路の整備				01	08	02	03	08
根拠法令					<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 平成24 年度～ 平成27 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入					
所属	部課名	都市整備部建設課								
	係 名	土木係	電話	0192-27-3111	内線	316				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
<p>市道永沢線は、県道丸森権現堂線から猪頭地区を結ぶ二級市道である。この路線は、海沿いの区域から高台の避難所に指定されている大船渡中学校へ避難する際に通る道路である。</p> <p>今回の震災において県道を通過していた車両が高台へ避難する際、狭隘な箇所が支障となり避難が遅れ、ボトルネックになっているJRガード部に流出したガレキが詰まり救助活動にも支障をきたした。このことから、計画区间において全面拡幅改良を行い、緊急時の避難路整備を行うものである。</p> <p>本路線の整備は、延長380m・幅員6.5m(片側歩道)とする。</p> <p>【計画期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>測量調査設計(1式) 平成24年度</li> <li>用地買収、補償業務 平成25年度</li> <li>工事施工(拡幅改良380m) 平成25年度～平成27年度</li> </ul> <p>事業費は、委託料、土地購入費、補償金、工事費、事務費として支出される。</p>						国庫支出金	0			
総事業費	財源内訳	都道府県支出金	0							
総投人量	(千円)	地方債	0							
		その他	166,480							
		一般財源	46,020							
		事業費計(A)	212,500							
		正規職員従事人数	9							
		延べ業務時間	1,430							
		人件費計(B)	5,720							
		トータルコスト(A)+(B)	218,220							

## 1 現状把握の部(DO)

## (1) 事務事業の目的と指標

## ① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

測量調査設計(1式)

## 今年度計画(今年度に計画している主な活動)

用地買収(572m<sup>2</sup>)、補償業務(立木)、工事施工(拡幅改良220m)

## ② 対象(誰、何を対象にしているのか) \* 人や自然資源等

市道永沢線

市道利用者

JRガード

## ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

(市道が)拡幅改良される。

(市道利用者により)安全に利用してもらう。

## ④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)

安全で快適に移動できる。

## ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 用地買収面積	m <sup>2</sup>
イ 施工延長	m
ウ	

## ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 計画総延長	m
キ 主たる利用者数(路線周辺の世帯数×1世帯当たり平均人口)	人
ク	

## ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 十分な幅員で舗装された供用開始道路延長	m
シ 整備率(計画区間改良済延長/計画総延長)	%
ス	

## (2) 総事業費・指標等の推移

事業費 投 入 量	年度 単位	23年度(実績)		24年度(実績)		25年度(目標)		26年度(目標)		27年度(目標)		28年度(目標)	
		国庫支出金 千円	都道府県支出金 千円	地方債 千円	その他 千円	一般財源 千円	事業費計(A) 千円	0	7,606	30,400	65,000	65,000	0
人	正規職員従事人数	人			2		3		2		2		
件	延べ業務時間	時間			130		500		400		400		
費	人件費計(B)	千円		0	520		2,000		1,600		1,600		0
	トータルコスト(A)+(B)	千円		0	8,126		40,100		85,000		85,000		0
⑤活動指標	ア	m <sup>2</sup>			0		572		0		0		
	イ	m			0		220		80		80		
	ウ												
⑥対象指標	カ	m			380		380		380		380		
	キ	人			120		120		120		120		
	ク												
⑦成果指標	サ	m			0		220		300		380		
	シ	%			0		57.9		78.9		100		
	ス												

事務事業ID	1513	事務事業名	永沢線改良工事
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			東日本大震災において海沿いの永沢地区から高台へ避難する際、狭隘な箇所があり避難に支障をきたした。避難路整備を目的として復興交付金申請を行い、平成24年度から事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			地域の理解度が進み、協力的になった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			地域から、早期完成を強く要望されている。
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価			
目的妥当性評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 改良整備により、安全・快適に利用できるので、都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 この市道は、全区間未改良であり、この事業により利用者が安全に利用できる(災害時に安全な避難ルートが確保される)ようになるため、適切である。
有効性評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 十分な幅員で舗装された道路計画延長となっていることから、これ以上の成果向上余地が認められない。(年度ごとの実績はあるが、全区間整備を行なわなければ、この事業の目的が達成されない。)
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 安全で快適に利用できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	(具体的な手段、事務事業) 個別事業であり、他に手段はない。
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

事務事業ID	1513	事務事業名	永沢線改良工事
--------	------	-------	---------

### 3 評価結果の総括と今後の方針(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
<p>① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり          ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり          ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり          ④ 公公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>良好な事業実施がなされた。 沿岸部の防波堤整備に伴い、県道との接続部の形状が未だ不明瞭である。 JRガード拡幅について、工事施工をJRに委託する予定だが、完了までに5年との回答を得ている。</p>																							
(3) 次年度の方向性(改革改善案)…複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)																								
<p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持          事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>(県道接続部、JRガード部を除き)平成27年度事業完了に向け、事業を推進する。 県道接続部、JRガード部の改良については、関係機関と引き続き協議を進め、早期の全線供用開始を目指す。</p>																								
(4) 改革・改善による期待成果																								
<p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。          (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下	×	×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	●		×																				
	低下	×	×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																								

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者 建設課長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合	(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																							
<p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)  <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい  <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある  <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)  <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)  <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある  <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>	<p>① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり          ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり          ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり          ④ 公公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>適切な事務執行が行なわれている。</p>																							
(4) 次年度の方向性(改革改善案)…複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																							
<p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持          事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>(県道接続部、JRガード部を除き)平成27年度事業完了に向け、事業を推進する。</p>		<p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。          (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下	×	×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	●		×																					
	低下	×	×	×																					

### 5 最終評価結果

#### (1) 行政経営推進会議等での指摘事項